

新規

視力屈折検査機器導入事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 1,320千円

2 目的及び効果 3歳児健康診査の視力検査に、屈折検査機器を用いた目の検査を加え、6歳までにほぼ完成すると言われる目の機能の異常が早期に発見でき、眼科への精密検査へ繋げることにより、子どもの健やかな成長の一助になります。

3 事業概要 3歳児健康診査の視力検査に、短時間で近視や遠視、乱視や斜視などの異常を発見できる「視力屈折検査機器(スポットビジョンスクリーナー)」を導入し、健康診査の充実を図ります。



▲視力屈折検査機器による検査

風しん対策事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 事業年度 令和元年度～3年度

2 予算額 30,943円

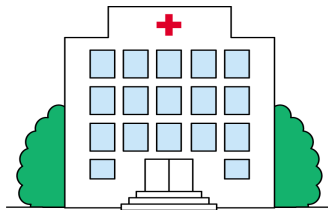
3 目的及び効果 風しんは、感染力が強い感染症です。



妊娠中の女性が風しんに感染すると、生まれてくる子どもに、眼や耳、心臓に障がいが生じる可能性があります。風しんの抗体保有率の低い世代の男性に対し、抗体検査及び予防接種を実施し、風しんへの感染を防ぐとともに感染の拡大防止を図ります。

4 事業概要

対象者である、風しんの抗体保有率が低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性には、令和2年度までに風しんの抗体検査及び予防接種の無料クーポン券を送付しており、令和3年度は、無料クーポン券を利用していない対象者に対して勧奨通知を送付し、健診機関や医療機関での受検及び接種を促します。



(仮称)第3老人福祉センター施設建設事業



福祉部 地域包括ケア推進課

1 事業年度 令和元年度～4年度

2 予算額 934,296千円
(継続費[令和3・4年度]1,132,885千円)

3 目的及び効果 今後も増加する高齢者の健康増進や教養向上を図るため、地域バランスを踏まえ、久保一色地内に市内3番目となる老人福祉センターの建設を進めます。

4 事業概要 (仮称)第3老人福祉センターの用地購入、建設工事等を行います。

■構造 RC造(一部鉄骨造)平屋建

■延床面積 2,328.57㎡



年度	R1	R2	R3以降
	<p>基本設計 現況測量 地質調査 地歴調査</p>	<p>実施設計</p>	<p>工事 令和5年中に完成予定</p>

建設スケジュール

充実

日常生活用具給付事業



福祉部 障がい福祉課

1 予算額 1,425千円

2 目的及び効果 現在行っている日常生活用具給付事業を拡充することにより、難病の方などの在宅での安心した暮らしの環境を整えます。

3 事業概要 難病や障がいにより人工呼吸器等の在宅医療機器を使用している方が停電などの非常時でも機器を使用できるように、バッテリー等の購入費用の一部を助成します。

○対象品目及び基準額

(下記基準額を限度とし購入費用の95%を助成します。)

・発電機	100,000円
・人工呼吸器用バッテリー	100,000円
・外部バッテリー又はポータブル電源	50,000円

